インフォーメーション・クリップ

子どもNPOセンター Information Clip

講演

チャイルドラインから見える子どもたち



「チャイルドラインから見える子どもたち」をテーマに、理事 谷内由美子が講演をします。地域の団体やPTAなどで“子どもの今”を一緒に考えてみませんか。

「講師、派遣します」



演劇的手法（ドラマエディケーション）を用いて、子どもたちの豊かな表現力やコミュニケーション力を育み可能性を引き出していきます。

実績　大野市小学校、越前市小学校、東安居児童クラブ、ハーツきっず湊児童クラブ、社児童クラブ、わかば児童クラブなど

子ども会のイベントやお祭りなどで
子どもNPOセンターの

\楽しい/「手作り遊び」を使ってみませんか?



◎スマートボール
◎巨大ジェンガ
◎空き缶つりぼり
◎カウボーイ輪投げ
◎巨大だるま落とし
◎ストラックアウト
◎千本引き
◎人間もぐらたたき
◎皿まわし など

お気軽にお問合せください。

認定NPO法人 福井県子どもNPOセンターにご支援ください。

子どもNPOセンターは、国際条約でもある「子どもの権利条約」に沿って子どもの最善の利益を考えて日々の活動をつないでいます。

A. 賛助会員
子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動を支援する会員。
- ●個人　一口年額／ 5,000円
- ●団体（法人）　一口年額／10,000円

B. ボランタリー会員
子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動にボランティアとして協力・参加する個人。
- ●個人　一口年額／ 1,000円

C.一般寄付も受け付けています。

入会方法

郵便振替の通信欄に、
❶住所 ❷氏名 ❸電話番号
❹会員の種類（左記ABCいづれか）
❺口数 を記入してお振込みください。

郵便振替
00770-1-45546
福井県子どもNPOセンター

◎税制上の優遇措置について

「認定特定非営利活動法人」へのご寄附や、正会員以外の年会費等は、下記のような税制上の優遇措置（寄附金控除）が受けられます。ぜひご利用ください。

❶個人のご寄附
【所得税】（寄附金の合計額 −2,000円）×40%が税額控除されます。［上限：所得税額の25%］
【住民税】自治体によって異なります。お住まいの自治体にお問い合わせください。
【相続税】相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に寄附した場合、寄附をした財産には相続税が課税されません。

❷法人のご寄附（法人税）
認定特定非営利活動法人への寄附金の特別損金算入限度額が改正されました。(2012/4/1)
{（資本金×（当期の月数÷12）×0.375%）+（所得の金額×6.25%）}

※詳細については、最寄りの税務署にお問い合わせ下さい。また、国税庁のウェブサイト（国税庁＞申告・納税手続＞認定NPO法人制度）でも手続きの詳細が掲載されています。

団体正会員

鯖江子ども劇場	〒916-0024 鯖江市長泉寺町1-9-20 鯖江市民活動交流センター内
小浜子ども劇場	〒917-0231 小浜市国分50-9 TEL.0770-56-2867
勝山子ども劇場	〒911-0811 勝山市片瀬町1-402 勝山市民活動センター内 TEL.0779-87-1011　FAX.0779-87-1022
NPO法人 福井芸術・文化フォーラム	〒910-0019 福井市春山2-7-1（福井市文化会館内） TEL.0776-23-6905　FAX.0776-23-7905

福井県子どもNPOセンターを支援しています。

- ●有限会社アドヴァンス近信
- ●池田歯科医院
- ●大月産婦人科クリニック
- ●春日装備株式会社
- ●上屋敷工業株式会社
- ●学校法人 福井仁愛学園
- ●カフェリビングsu_mu
- ●造家屋
- ●千歳工業株式会社
- ●つちだ小児科
- ●光タクシー有限会社
- ●福井県映画センター
- ●まきレディースクリニック
- ●三井皮膚科医院
- ●やしろ歯科クリニック
- ●山内整形外科
- ●六感デザイン

Salt & Pepper
ソルト&ペッパー

娘と買い物中、10年ぶりのママ友に会った。「あら〜。2人とも全然変わってないね(笑」社交辞令と分かっていても…10年だよ??愛想笑いの奥で、45歳の私は喜び15歳の娘は悲しんだ。年代で微妙な女心。(ふじりんご)

記事、情報に関するお問い合わせは福井県子どもNPOセンターまで
認定NPO法人
福井県子どもNPOセンター
〒918-8106 福井市木田町36-1 コーポ木田201号
TEL.0776-97-8460　FAX.0776-97-8461
E-mail childnpo@muse.ocn.ne.jp
URL http://childnpo.com　見てね！

企画・編集／福井県子どもNPOセンター　デザイン／六感デザイン



Take Free［無料］

こどもChannel 2019 64号

2019年5月31日発行（年3回発行）通巻第64号

「今」を生きる子どもたちと、かつて子どもだった大人たちをつなぐ情報誌。

バックナンバーは
こちらから

こどもChannel チャンネル

みる　きく　あそぶ　かんがえる

2019 64号

発行：認定NPO法人 福井県子どもNPOセンター　URL：http://childnpo.com

特集　子どものチ・カ・ラ14

移り行く社会の中で変わらないもの

「力を貸してください」新聞記事のタイトルに、多くの福井県民の方が心を動かしてくれました。この記事はふくいチャイルドラインの現状とボランティア募集の養成講座について書かれたものでした。ここ数年、ボランティアが多種多様になっているため、受け手ボランティア養成講座の受講者が定員に達することはありませんでした。

2000年から活動している「チャイルドライン」は、全国の子どもがかけてくる電話を一般のボランティアが受ける活動です。子どもを一人の人格として考えるチャイルドラインは、安心して電話をかけられる場であることを子ども達に約束しています。ですが、その「安心して何でも話せる場」も話を聞くボランティアが存在しなければ成立しない…。このような気持ちをそのままお話ししました。

掲載翌日より事務所の電話が鳴りやまず、子ども達の為に何かしたいと思われている幅広い年齢の方が県内に多くいらっしゃることを実感しました。「子ども達の心の居場所としてのチャイルドライン」に賛同していただいていると嬉しく思いました。

チャイルドラインを始めて20年が経ち、電話の子どもの声から社会の変化をいろいろと感じることができます。スマホから気軽にインターネットを見られることによる情報量の多さ、人間関係の希薄さ、複雑になってきた家庭環境…ですが、子どもたちが豊かに育つのはたくさんの経験と多くの人との関わりです。これは昔も今も変わらないことです。

人のこころに触れることで、生身の人同士が向き合うことの大切さを子どもに感じてもらいたいと切に願います。子どもと大人が共に育つ社会を目指して私たちと一緒に活動してみませんか。（谷内由美子）





報告

表現ひろば 演劇キッズ 2018



■とき：3月16日（土）開演14時　■会場：響のホール　■観客：121人　■練習：7月～3月全25回

今年度の演劇キッズは、小学3年生から中学2年生までと、広い年齢幅のメンバーが集まりましたが、年齢・経験に関わらず、各自のペースで、徐々に個性と本領を発揮し、いろんな表情を見せてくれました。基礎練習の段階からみんなが積極的で、更に9月に台本を持ち役が決まってからは、架空の【星】の物語のイメージや自分の役について、理解し、考え、表現する力や、進んで動く積極性には目を見張るものがありました。自分の考えを持ち、劇の全体像も自分の役割もしっかりつかみ、こちらの提案にも下級生までもがはっきりイエス・ノーと言える、意欲的で頼もしい16名でした。それでいて稽古場の雰囲気は和やかで、下級生の子は伸び伸びと、上級生の子は頼もしく、学年層の厚さがとても良い関係性を作ったようです。出演する子どもと、支えるおとなと、みんなの力を集結して、0から作ったお芝居。本番では、みんなが、緊張しながらも堂々と演じ、達成感に溢れた顔はキラキラと輝いていました。（梅田美千代）

発表 “この星で、みんながしあわせに生きるために”

子どもの感想

今日は本番！始めは楽しかったけど、お客さんを見たら急にきんちょうしはじめてきた！でも練習どおりにすればいいと思ってやったら、全然いけました。無事に成功してよかったです！来年もありますか？あったらまたしたいです！

本番の時はセリフが少し走ってしまいました。でも、自分にできる限りの演技ができたと思います。

今日、本番で大きな声で言えたのでよかったです。初めてメイクをしたので、どきっとしました。来年もできたらやりたいです。いや、やる！

保護者の感想

色々な性格の子どもたち、学校も違うメンバー、週1回の練習で一人ひとりの良いところをのばしながらの演劇指導すごいですね。1年での解散はさみしいですが、娘の人生の宝がまた一つ増えました。

毎回、いつも楽しみに参加していました。帰ってからもいっぱい話をしてくれて、話す声もはきはき大きな声を出せるようになりました。初めは、好きな果物を言うのもモゾモゾしていたのに、堂々と大きな声でセリフを言えるなんて！大きな成長です。








子どもと文化企画事業

“大人こそ必要な「あそび力」「子ども力」”

福井市児童クラブ連絡協議会　支援員研修会

報告

■とき：3月7日（木）9時30分～11時30分
■会場：福井県社会福祉センター2階身障第2研修室
■講師：早川たかし氏（富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊）　■参加者：32名

早川氏は、遊びの大切さを提唱し、子どもや大人に向けて「遊びを通してコミュニケーションをとることが互いを成長させる」と活動を続けています。研修はワークショップ（サソリの標本、皿回し、けん玉など）に講演をまじえたもので、皆さん子どもにかえって“あそび”を楽しんでいました。




参加者の感想

生活に追われた今の大人達にも“遊び”は大切なこと、そして、子どもと一緒に“遊び”を通して一体感を感じることは大切だと痛感しました。

皿回しが出来ただけなのにすぐにでも誰かに知らせたい、見てもらいたい、ほめてもらいたい、自慢したい…という気持ちになりました。私も遊びたかったんだなぁと、思いました。

現場では、コミュニケーション、遊び力、心が必要な事は頭にありますが、自分は何かしなければならない、子どもには何かをさせないといけない、が先立ちます。自分の心が子どもになりきれない場面が多々あります。しかし、理論と根拠があるのに、遊びの楽しさが際立って心に入ってくる講演でした。また、簡単だけど達成感がある作って遊ぶものを紹介してもらい嬉しいです。大人でも遊びを上達させたいという子どもの心が顔を出しました。

ふくいチャイルドライン

FUKUI CHILD LINE



18才までの子ども専用電話
毎日 午後4時～9時
☎0120-99-7777

報告

ボランティア養成講座

ふくいチャイルドラインの受け手になって頂くために最初に受ける研修が『受け手養成講座』です。チャイルドラインでは日本全国の小学1年生から18歳までの子ども達の話を聴かせてもらえます。年齢に幅があると子どもを取り巻く環境も変わってきます。精神面も、身体も成長し抱える問題も変わってきます。そんな多様な子ども達に寄り添うために必要な研修です。そしていよいよ受け手登録して下さった方達は『受け手のための直前研修』を受講。2回の研修で、子どもの権利条約について考え、話を聴かせてもらうために大切なことを学び、ロールプレイで実際に話を聴く体験をして頂きました。もう一つどうしてもお伝えしたいのは、どんなに社会環境が変わってきても、福井県子どもNPOセンターが発足当時から大切にしてきた《子どもの力を信じる》事を忘れず、大人の価値観を押し付けない、そのような受け手になって下さることを願っているということです。（内山喜代子）

■とき：3月9日（土）10時～17時　■会場：福井県社会福祉センター4階研修室
■参加者：46名（内受け手登録者36名）

時間	研修内容
10:00～12:00	公開講座 講演「気になる子って、面白い！」福井県こども療育センター次長（医療）津田明美氏
12:45～15:00	ロールプレイ「話をよく聴くということ」福井県カウンセリング研究会 巣守光氏
15:05～16:30	ワークショップ「子どもの権利を知ろう」理事長 齋藤万世
16:30～17:00	ガイダンス「チャイルドラインとは」チャイルドライン室長 谷内由美子



こども療育センターの医師として日々多くの子どもたちに関わってらっしゃる津田先生に医学的観点、子どもたちと関わる中でのご経験からご講演いただきました。気になる子の行動と脳との関連、子どもたちの特性を読み解きその子にあった工夫をすることでその子自身の一番の力を発揮出来ること、それを私たちが知識として得ることにより偏見がなくなり子どもや親の支援になるということ等、具体的に教えていただくことが出来ました。視覚的支援などの環境調整、ルールやコミュニケーションなどの見える化、良い行動について褒める、出来たところに注目して好ましい行動を認めていく達成感の大切さなどを具体的に、津田先生の子どもたちに対する愛情溢れるお人柄を感じながら深く学ぶことが出来る貴重な時間になりました。（髙木美貴）



参加者の感想

■講演会参加者：87名

具体例を出して話してくださり、わかりやすく、困っている子の気持ちや困り具合がよく分かりました。また保護者とのかかわり方も学べよい勉強になりました。

発達障害という言葉がよく聞かれるようになりましたが、1人1人の特性（個性）なのだと思えるようになりました。「ほめる」とても苦手です。でも、何気ない生活の中の出来た事をほめる。「ありがとう」の感謝の気持ちでもいいとわかり、少し気が楽になりました。一人一人をよく見ること。その子の人生が楽しく幸せな人生になる事を目標に育てればよいと分かり、とてもためになりました。

報告

春うららん チャイルドライン フリーダイヤル 支援キャンペーン



■協力：富士通株式会社
■とき：3月3日（日）10時～16時
■会場：ショッピングシティ・ベル北コート
■募金総額：42,735円

チャイルドラインの周知のため、富士通㈱の協力をいただき「子ども縁日」を開催しました。毎年好評のアートバルーンの他、“巨大だるま落とし”や“空き缶つりぼり”などユニークな手作り縁日は親子連れで賑いました。縁日参加費はチャイルドラインのフリーダイヤル支援とさせていただきます。ご支援ありがとうございました。

報告

福井市木田児童クラブ運営委員会委託事業

木田児童クラブサポート事業 人形劇「ふしぎなたいこ」

■とき：3月27日（水）
■参加者：木田児童クラブ44名
　　第2木田児童クラブ51名

春休みに人形劇団トロッコの人形劇を観ました。「ふしぎなたいこ」というお話で太鼓を叩くと鼻が伸びたり縮んだりする楽しいお話にすぐに子ども達は吸い込まれていきました。最後には、舞台の裏まで見せていただき実際に人形にも触らせてもらい良い経験ができました。子ども達からも次もある？楽しかったね。などの声が聞かれました。次回も楽しみにしています。（岡田美香）

